



平成24年4月17日

大学院自然科学研究科教授が開発した

「パワーアシストグローブ」が産学官連携特別賞を受賞

本学大学院自然科学研究科・則次俊郎教授の研究グループが産学連携により共同開発したパワーアシストグローブが、公益財団法人りそな中小企業振興財団と日刊工業新聞社の主催による第24回「中小企業優秀新技術・新製品賞」の産学官連携特別賞を受賞しました。パワーアシストグローブは大学院自然科学研究科の空気圧ゴム人工筋を用いたパワーアシストウェアの研究成果とダイヤモンド工業(岡山市)の技術の連携により産まれた画期的な製品です。手指が不自由な人の指の動作や握力を支援することができます。軽量・柔軟・簡便で人に優しいアシスト装置として、高齢者や身障者の日常生活における動作支援やリハビリテーション、さらに、一般の各種作業支援への応用が期待されています。

1. 岡山大学大学院自然科学研究科とダイヤモンド工業が共同開発した製品「軽量柔軟なパワーアシストグローブ」に対して、ダイヤモンド工業が「優良賞」、大学院自然科学研究科・則次俊郎教授が「産学官連携特別賞」を受賞し、平成24年4月11日に、東京のホテル・グランドパレスで贈賞式がありました。
2. パワーアシストグローブは、岡山大学の則次俊郎教授らが独自に開発した空気圧により湾曲するゴム人工筋を指背の部分に装着し、手の握り動作や指の曲げ動作を支援するものです。岡山大学の研究成果が産学連携により軽量・柔軟・コンパクトで実用的な製品へ発展しました(添付資料参照)。
3. 本パワーアシストグローブは、手の開き動作や指の伸ばし動作の支援にも応用でき、リハビリテーションなど広範な応用が期待されています。
4. 関連解説記事
 - ・ 則次俊郎：空気圧ゴム人工筋を用いた身体動作支援装置の最新動向、計測と制御、Vol. 50, No. 1, pp. 30-35 (2011)
5. 関連特許
 - ・ 装着型パワーアシスト装置、特許第4564788号、特願2004-178516
 - ・ 手袋型パワーアシスト装置、国際出願PCT/JP2012/055694、特願2011-057791

<お問い合わせ>

岡山大学大学院自然科学研究科教授

産業創成工学専攻・則次俊郎

TEL/FAX 086-251-8061

E-mail toshiro@sys.okayama-u.ac.jp